

栃木県

事業所管：栃木県農政部農政課
地域事務局：株式会社ファーマーズ・フォレスト

● もち麦の特性を活かした商品開発で「栃木の健康食」とする県民運動に

県が開発した大麦「もち絹香」を活用し、機能性等に着目した商品開発を通じて、現代の生活様式や健康志向に合わせたサービスの創出や海外販路の形成による流通拡大を図り、持続可能な水田経営や食生活改善に資する。

LFP パートナー数

25社・団体
(2023.3 現在)



栃木のもち麦（もち絹香）の特性を活かした商品を開発。



新たなビジネスの価値

● もち麦「もち絹香」の白さ、歯ごたえの強さ、香りの良さなどの特性を活かした商品展開（もち麦チップス、もち麦パン、もち麦味噌）により、健康食として県民運動を展開。

● 「栃木の健康食」のプロモーション冊子の配布、県内の医療機関、スポーツ選手育成塾と連携することで潜在的な需要の発掘や新たな市場を開拓する。



スポーツイベントとコラボレーションし、情報発信と消費者評価会を実施した。

プラットフォームの体制

● 地域の事業者とのネットワークを有する地域まちづくり会社が事務局となり、多様な業種の事業者を誘致。

農林漁業者、食品製造事業者、流通販売事業者、ホテル、金融、スポーツ財団、FMパーソナリティ、広告会社、金融機関、医療機関、商工会議所、JETRO など。

ビジネス創出のプロセス

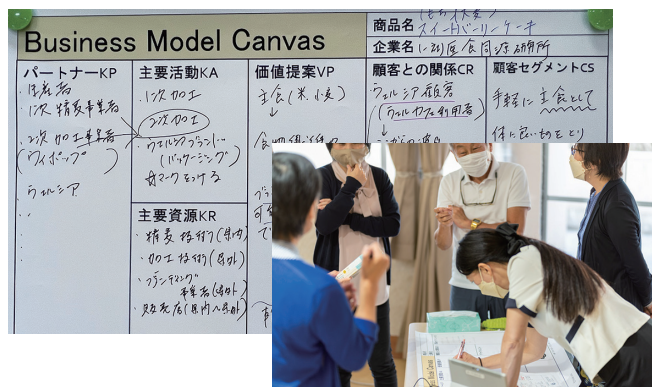
● ワークショップで、栃木県のもち麦品種「もち絹香」の特性（ユニークセーリングポイント）を共有のうえ、再評価し、健康食としての価値提供や県民への普及方法を検討した。

● 地域の飲食店、百貨店、ホテル・観光事業者などの協力を得て、健康食としての販売チャネルの検討を行った。

新しい取組・仕組みづくり

● 健康志向の商品とするだけでなく、「栃木の健康食」として県民運動を展開することにより、潜在的な需要を発掘する。

● 「フードバレーとちぎ」など既存の食関連産業振興協議会と連携することで、情報やノウハウの共有、事業者連携の促進を図る。



ビジネスモデルキャンバスを活用することで、収益・コストを意識した具体的な事業検討を実施できた。